

各 位

(公社)愛媛県紙パルプ工業会

紙産業中核人材育成講座令和5年度(最新製紙技術コース)のご案内

早春の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当工業会では、標記中核人材育成講座を実施して17年が経過いたしました。その間、平成17・18年度の実証講義では延べ55名の修了者、自立運営後の平成19～令和4年度では190名が修了いたしました。この講座は、紙製品のコスト競争等、紙産業を取り巻く環境が著しく変化する中で、紙産業界の技術力を向上させ、生産現場ですぐ対応できる中核的な技術者・リーダーの育成を目的としております。

この講座の概要は、最新製紙技術コース・最新紙加工技術コースの2コース全26科目を学び、製紙技術、紙加工技術、機械設備・システム技術を広く修得し、紙産業企業における中核的人材の育成をめざしています。講義は実習講義を含む少人数のゼミ形式で、各分野の第一線の講師により重要基本事項から最新の技術・情報までを修得し、実践に即対応でき紙産業の将来を担える技術者を養成する内容となっています。

業務ご多忙の折とは存じますが、標記講座を下記のとおり開講いたしますので、多数の方々を受講していただきますようご案内申し上げます。

記

1. 講 師 大学教授、公設試験研究機関OB、各専門企業技術者の精鋭講師で実施します。
(別紙：講義科目概要及び講師紹介を参照下さい)
2. 期 間 令和5年度最新製紙技術コース： 令和5年6月～令和6年2月
※令和6年度最新紙加工技術コースにつきましては、改めてご案内させていただきます。
3. 日 程 <講義>金、土曜日 <実習講義>木、金、土曜日
(別紙：講義スケジュール表のとおり)
4. 受講定員 約20名(応募者多数の場合は事務局で調整させていただきます)
5. 受講対象 実務経験3年以上、又は同程度の能力を有する方
6. 実施場所 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター (四国中央市妻鳥町)
高知県立紙産業技術センター (吾川郡いの町)
7. 受講料 ¥200,000 (13科目、延168時間)
(愛媛県紙パルプ工業会会員企業は、受講料¥30,000を減額いたします)
8. 共 催 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 高知県立紙産業技術センター
9. 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送・ファクス・E-mailにて下記までお申込み下さい。受講申込書は当工業会ホームページからダウンロードできます。
(公社)愛媛県紙パルプ工業会 〒799-0101 四国中央市川之江町4084番1
Tel:0896-58-2055 Fax:0896-58-6240 E-mail: info@e-kami.or.jp
URL: http://www.e-kami.or.jp/
10. 申込締切 令和5年5月12日(金)必着
11. その他 受講生派遣元企業が「人材開発支援助成金」を申請することにより、受講料の補助や支払った賃金の助成が受けられる可能性があります。詳しくは都道府県労働局までお問い合わせ下さい。
受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

講義科目概要

講義科目	時間	講師氏名	講義内容
日本・世界紙産業特論	6	豊福邦隆	世界の製紙産業の歴史、現状、各国の特徴を学ぶことによりグローバル化に対応する知識を習得する。日本の製紙産業の国への貢献、環境対応産業であることを理解する。また、製紙産業に対する知識を深め、これからの日本が取り組む課題、中国の影響等を学習する。
地域紙産業特論	6	鈴木 茂	四国の紙パルプ産業の現状と課題、基盤技術としての製紙技術と素材革命の活用、在来技術とハイテク技術を融合したハイブリッド型ベンチャー企業、地域固有のノウハウと新規創業の潜在的可能性について学習する。
製紙原料及び原料調製特論	12	森川政昭 遠藤英俊 頭師武三	紙産業で用いられている原料繊維（木材繊維を中心にした植物繊維、化学繊維）について、その種類・処理法を中心に学習。実際の現場で用いる繊維選択の意義、処理法の原理、さらには地球環境問題との関係などを理解する。
品質管理技術特論	12	畠中 均	1. 品質マネジメントシステム内部監査員養成の為の監査手法習得。 2. 業務のあるべき姿へ改善させる手法の学習。（ワークショップを通じて学ぶ、プロセス改善のためのDMM分析とPDCAサイクルの組み込み）。
製紙機械特論	12	木花正憲 合田真二 鈴木昌彦 高嶋泰司	原料処理工程（最新の高速離解機・叩解機、古紙処理設備、除塵設備）から抄紙工程（最新のアプローチ設備、ドラフト、ロール周辺設備）までについて、各工程の設備目的や設備能力・設備技術について学習する。また最新のメンテナンスの現状も学習する。
抄紙技術特論	12	林 幸男 平林稔也 小山太吾 塩谷 徹 横田善久 頭師武三	抄紙に関する一般事項の解説をはじめ、手すき、円網、長網抄紙技術からツインワイヤーなどの最新抄紙技術を含む、各工程管理の実際を学習。また、新製品の開発手法、品質特性などを理解し、各製品のクレーム処理などを学習する。
JIS規格 ISO規格試験実習	18	服部春夫 田井雅史	紙、高付加価値紙製品に関するJIS規格及びISO規格試験法の実習、紙の機能性評価試験方法、品質管理の試験法を学習する。
製紙用薬品特論	6	馬場勇治 小林英樹 山崎太郎	製紙用薬品のうちサイズ剤、紙力剤、粘剤及び家庭紙用薬品に関する内容。基本的な製紙用薬品の種類と特徴、作用機構、作用に影響を与える因子、実際の使用例などを学習する。
機能紙抄紙試験実習	18	京極昌一 谷 哲哉	機能紙抄紙試験実習では手抄シートによる「ものづくり」の基本を学習する。シートマシンを使用して内添薬品の品質確認や色合わせ技術の実習を行う。またテストマシンによる機能性材料を使用した機能紙の試作を行い、各種試験機器での品質評価方法を学習する。
機器分析技術特論	12	顔 旭 漆崎文彩 樋口哲夫	機器分析の基本的な考え方や手法、代表的な機器分析機器を学習する。また、蛍光X線分析装置・走査型電子顕微鏡・GC/MS等の分析機器の基本原理と操作方法・試料作成について学習し、紙の組成・添加剤成分・紙中の異物等の分析方法についても学習する。
機能紙・特殊紙特論	12	市浦英明 杉山公寿	感熱紙、難燃・不燃紙、金属化紙、擬革紙などの特殊紙と機能紙研究会の紹介、汎用繊維から機能繊維、最新機能材料などの原材料、インテリジェント機能紙、感性機能紙、複合化機能紙、生分解性機能紙などの最新機能紙の製法、特徴、用途など、及び紙産業の未来像を学習する。
紙産業環境技術特論	12	藤井 剛	最新の環境リサイクル対応技術などを中心に、大気汚染・悪臭・騒音・水質汚濁防止対策、最新排水処理方法、最新製紙スラッジ処理方法等を学習する。
製紙技術・開発手法実習	30	宮崎利光 城市典昭	製造現場で起こりうるテーマを再現して、受講生が自らの判断で問題解決する方法を修得する。企業における新製品の製造企画、処方確立から製造工程までの手法を学習する。

(敬称略)

【講師紹介】

豊福 邦隆	元紙パルプ技術協会・専務理事	服部 春夫	大王製紙㈱ 技術開発部品質保証技術教育G
鈴木 茂	松山大学・名誉教授	田井 雅史	大王製紙保安検査システム㈱・係長
森川 政昭	元愛媛県紙産業技術センター・センター長	馬場 勇治	星光PMC㈱ 関西営業所・課長
遠藤 英俊	㈱ヒューテック 開発部システム5課	小林 英樹	明成化学工業㈱東京営業所
頭師 武三	元リンテック㈱加工紙製造部・課長	山崎 太朗	明成化学工業㈱高分子研究開発部
畠中 均	日本再生コンサルタント・バイス・プレジデント	京極 昌一	リンテック㈱三島工場洋紙製造部・部長
合田 真二	川之江造機㈱・取締役	谷 哲哉	日本電色工業㈱大阪営業部営業1課
鈴木 昌彦	川之江造機㈱ 設計部・部長	顔 旭	㈱島津製作所 グリーンソリューションユニットインスツルマンツエキスパートG
高嶋 泰司	川之江造機㈱ 設計部・係長	漆崎 文彩	㈱島津製作所マテリアル_インフラストラクチャーソリューションユニットインスツルマンツエキスパートG
木花 正憲	相川鉄工㈱ 技術本部・参与	樋口 哲夫	日本電子㈱・グローバル営業本部 AI 営業
林 幸男	元高知県立紙産業技術センター・所長	市浦 英明	高知大学農林海洋科学部・教授
横田 善久	丸住製紙㈱技術部試験研究課・課長	杉山 公寿	レンゴー㈱中央研究所・商品開発第二部長
平林 稔也	日本フィルコン㈱製紙・機能アプリケーション 国内営業部 大阪営業所・所長	藤井 剛	大王製紙㈱環境保全室環境保全課・課長
小山 太吾	日本フェルト㈱ 技術部・係長	宮崎 俊光	三木特種製紙㈱製造部技術課・係員
塩谷 徹	ダイワボウプログレス㈱カンバス開発部	城市 典昭	ダイワボウレーヨン㈱機能原料部販売課

(順不同・敬称略)

【協力機関】

愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 高知県立紙産業技術センター

【支援企業】

相 川 鉄 工 ㈱	荒 川 化 学 工 業 ㈱	泉 製 紙 ㈱
カ ミ 商 事 ㈱	川 之 江 造 機 ㈱	㈱ 島 津 製 作 所
シ ン ワ ㈱	星 光 P M C ㈱	大 王 製 紙 ㈱
大 和 紡 績 ㈱	ダイワボウレーヨン㈱	日 本 フ ィ ル コ ン ㈱
日 本 フ ェ ル ト ㈱	日 本 電 子 ㈱	日 本 電 色 工 業 ㈱
丸 住 製 紙 ㈱	三 木 特 種 製 紙 ㈱	三 菱 電 機 ㈱
明 成 化 学 工 業 ㈱	リ ン テ ッ ク ㈱	レ ン ゴ ー ㈱

(順不同)

令和5年度 講座スケジュール（最新製紙技術コース）

令和5年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

令和5年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

令和5年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					9	10
4	5	6	7	8	日本世界紙産業特論	地域紙産業特論
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
					製紙原料及び原料調整特論	

令和5年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
					製紙原料及び原料調整特論	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

令和5年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
					品質管理特論	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	製紙機械特論	

令和5年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					8	9
3	4	5	6	7	抄紙技術特論	
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

令和5年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
					JIS規格・ISO規格試験実習	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
					製紙用薬品特論	
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

令和5年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
					機能紙抄紙試験実習	
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

令和5年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					機器分析技術特論	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
					特殊紙・機能紙特論	
24	25	26	27	28	29	30
31						

令和6年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
					紙産業環境技術特論	
28	29	30	31			

令和6年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
					製紙技術・開発手法実習	
11	12	13	14	15	16	17
					製紙技術・開発手法実習	
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

令和6年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

特別開放講座

高知開催

科目	講義時間(科目数)	総時間数
講義	10 12h (7) ; 6h (3)	12×7=84 ; 6×3=18
実習	2 18h (2)	18×2=36
開発技術実習	1 30h (1)	30×1=30
合計	13	168時間

講義時間 / 9:30~12:30 13:30~16:30

紙産業中核人材育成講座 受講申込書

年 月 日

公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会 会長 様

標記講座（令和5年度最新製紙技術コース）の受講について、下記のとおり申し込みます。

企業名			
所在地		〒	
		TEL	FAX
担当者名		部署	氏名
受講者	所属	部署	役職
		TEL	FAX
		E-mail	
	ふりがな		
	氏名		男 ・ 女
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生（年齢）	
連絡先	住所（会社：自宅）〒		
	TEL	（ ）	携帯 - -
職務経歴 （職務概要、職務歴 と経験年数など）	経験年数 年		

(注)受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

★申込先：下記まで郵送・FAX・E-mailにてお申し込みください。

〒799-0101 四国中央市川之江町 4084 番 1

(公社)愛媛県紙パルプ工業会

TEL:0896-58-2055 FAX:0896-58-6240

E-mail: info@e-kami.or.jp